

お客様ならびに販売店（取付店）様へ
**安全にお使いいただくために
必ず最初にお読みください。**

※商品を受け取りになられたら、まずは商品の構成内容をご確認していただき、過不足がないかチェックしていただくようお願いいたします。

商品によっては小部品などが梱包材の下や段ボール、梱包材に直接貼り付けられている場合がございますのでご確認ください。

※安全上の注意事項※

パッケージ、取扱説明書に記載してある指示及び警告、注意に反したご使用により損害が発生した場合、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。



警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・製品包装のビニール袋等は、子供や幼児がかぶったり吸い込んだりしないよう、手の届かないところに片付けるか、廃棄処分してください。
- ・マフラー、エンジン、ブレーキ等はエンジン始動中及び停止後しばらくは高温になっています。触れると火傷等の怪我や衣服等の可燃物が燃える可能性がありますので、その部分がきちんと冷えるまで人や動物が触れることがないようにしてください。また、近くにガソリンなどの危険物や燃えやすい物を置かないでください。作業を行う際は、エンジンなどがきちんと冷えてから行ってください。
- ・本商品に使用されている全てのボルト／ナット類（商品に組み込み済みボルト／ナット類を含む）は取り付けるときに、必ず締め付け確認を行ってください。締め付けは記載された規定のトルクにて確実にいき、記載の無いものについては車両のサービスマニュアルもしくはボルト／ナット類のサイズ／種類にあった規定のトルクにて締め付けてください。締め付けが不確実な場合や組み付け不良等は走行中などに部品が脱落、事故等に繋がります。
- ・取り付け後は100Km程度の試運転後、各ボルト／ナットを規定トルクで増し締めを行ってください。その後も500Km程度ごとに同様の増し締めを行ってください。走行中には、必ず各部の点検及び増し締めを行い、定期点検は必ず行ってください。
- ・エンジンを始動するときには、換気の良い場所で行ってください。
- ・エンジン始動時は排気口に手を出したりしないでください。火傷や排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。
- ・走行中に異常が発生した場合は、直ちに走行を中止し、安全な場所に停止して、異常箇所の点検を行ってください。
- ・作業は必ず、水平で安全な状態が確保できる場所で車両を安定させてから行ってください。
- ・ドライブチェーン、スプロケットなどの回転部分やブレーキ、クラッチレバー／ペダル等の可動部分に手や衣服等を巻き込まれないように注意しながら作業を行ってください。
- ・ガスケット、Oリング、割ピン等は取り外し毎に必ず新品に交換してください。
- ・一般公道（舗装路）において法定速度内でのご使用を想定しております。法定速度を守り安全運転を心がけてください。



注意 誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的障害の発生が想定される内容を示しています。

- ・本商品はオートバイに関する整備の一般的な知識及び技能を有する方（国家資格を持つ整備士）が取り付けを前提としております。それ以外の方が取り付けを行うと本書の通りに取り付け整備をしても知識不足、技能不足で正しく取り付け整備ができないため、トラブル、破損等の原因となることがあります。国家資格を持つ整備士または指定、認証工場へ取り付けを依頼してください。
- ・本商品はパッケージまたはWEBページに記載された適合車種以外への使用はしないでください。また本商品が汎用品の場合は、弊社で確認済み車両以外に取り付けたことにより起こった不具合に関しては保証の対象外となります。
（最新の適合車種／確認済み車両は弊社WEBページでご確認ください）
- ・本商品はノーマル車両を前提に設計されています。車両に事故歴や転倒歴がある場合や別途アクセサリ部品が取り付けられている場合には適合車種でも取り付けできない場合があります。また弊社で確認済み以外の他商品との組み合わせで取り付けした場合、車両および部品を破損させる可能性があります。
- ・塗装仕上げやアルマイト処理が施された商品は、製造上、商品の裏側や取付けステー周辺の表面仕上げにムラが発生する可能性があります。その場合タッチアップペイントを施していることもあります。その仕上がりに関するクレームはお受けできません。また、地域の環境やメンテナンス次第によっては、サビや色落ち等の素材の経年変化が発生する可能性があります。耐久性や品質等が純正パーツとは異なるものがありますのであらかじめご了承ください。また、お手入れ等を行う際には、ガソリンやシンナー等の溶剤は使用しないでください。塗装や表面処理にダメージを与える原因になります。
- ・本商品やパッケージの角部等には、エッジや突起部がある場合があります。その際にはケガ防止のために、整備に適した作業着、帽子、安全靴を装着し、必要に応じて 防塵眼鏡、防塵マスク、手袋等の保護用具を着用して作業を行ってください。また、必要に応じて、ヤスリ等を使用してエッジ部や突起部の処理を行ってください。
- ・製品個体差による溶接や塗装、小傷歪み等、程度の差につきましてはあらかじめご了承ください。
- ・本商品の各部品に曲げ、切削、溶接等の追加加工を行った場合は保証の対象外になり、重大な事故が起こる場合がありますので絶対に追加加工等を行わないでください。
- ・本商品を取り付けることで、車両側の取り付け面や商品を含むボルト、ナットの締め付け座面にキズや塗装の剥がれが起こる場合がありますが、そのことについてのクレームはお受けできません。また、部品の脱着するときには、塗装面への傷付きに注意して作業してください。
- ・本商品を取り付けることで、車両メーカーからの車両本体の保証修理の対象外になる場合があります。
- ・本書は取扱説明書及び本商品の取り付けに際して取り外した部品と一緒に保管してください。本商品または本商品を取り付けた車両を譲られる際には本書及び取扱説明書や警告、注意の記載があるパッケージも併せて譲渡先へお渡しください。
- ・お客様以外が取り付けを行う場合、取り付けされる方（販売店を含む）は取り付け完了後に各部の緩み、不具合等点検後、危険箇所（バリ、突起部）無きことを確認の上、必要事項を説明し本説明書も必ず一緒にお客様へお渡しください。
- ・車両から取り外した純正部品を再利用する場合には、摩耗や破損を確認し、必要であれば新品と交換してください。



ボトルケースKIT 取扱説明書

EF177KZVA01/B01, EI177K88A1/B1
EJ177K0GA1/B1, EK177K2EA1/B1

※必ずお読みください※

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつも手元に置いて、正しい取り扱い方法により
永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

安全上の注意事項

作業に始める前に本書を必ず熟読いただき、記載事項を厳守して作業を行ってください。



警告

※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な
事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

- ・本商品は、パッケージまたはWEBページに記載された適合車種以外への使用はしないでください。
(最新の適合車種は弊社WEBページでご確認ください)
- ・不具合や異常が発生した場合には、ただちに使用をやめて、弊社までご連絡ください。
- ・取り付けの際には、車両のサービスマニュアルを参考にしながら取り付けを行ってください。
- ・本商品を取り付けて使用し、本商品以外の部品に不具合が発生しても本商品以外の部品の保証は
どのような事柄でも一切負いかねます。
(不具合により発生した修理工賃やレッカー代、交通費など)
- ・本商品を持ち、車両を支える、移動する、持ち上げる等の行為はやめてください。本商品および
車両が破損する原因になります。
- ・本商品の使用にあたり、積載物等が車体の回転部分に巻き込まないように十分注意してください。
巻き込みを起こしますと重大な事故につながる恐れがあります。取り付け後は必ず安全を確保した
状態での試験走行を行い、巻き込み、脱落の恐れが無い点検をしてください。
- ・車両を固定する際に本商品を使用しないでください。破損の原因になります。
(ロープ、タイダウンベルト等を掛ける行為)
- ・本商品の装着、および本商品に荷物を積載した場合、操縦安定性やブレーキ性能が変化する
可能性があります。操作になれるまでは、特に慎重に運転してください。
- ・本商品に積載した荷物の脱落に対しては、脱落物やその事で発生した事故等についても一切保証
いたしません。
- ・本商品に荷物などの積載をしている場合、より車両が不安定な状態になりますので、サイドスタンドを
使用する際は十分に安定していることを確認してください。
- ・本商品と説明書はノーマルの車両に付けることを前提としていますので、その他のアフターパーツと
本商品との組み合わせに関することは不明です。また、本商品と取り付け部が重なる部品や、取り
付け時に干渉する他社製品との組み合わせは一切行わないでください。本商品や車両を破損させる
可能性があります。それにより発生した破損、不具合、事故等について弊社は一切の責任を
負いません。
- ・塗装仕上げの商品は、商品の裏面やステー周辺部、穴あけ加工部など、複雑な形状をしている箇所
には、色ムラが発生する可能性があります。その場合タッチアップペイントを施していることもあります。
その仕上がりについてのクレームはお受けできません。あらかじめご了承ください。また、
お手入れ等を行う際には、ガソリンやシンナー等の溶剤は使用しないでください、塗装にダメージを
与える原因になります。
- ・荷物の積み降ろしや、固定する際または、フタの開け閉めの際に本商品の接触面に傷が付きます。
あらかじめご了承ください。
- ・この商品は材料に鉄などを使用していますが、金属製であっても長年ご使用されますと経年変化による
劣化が生じます。必ず定期点検を行ってください。経年変化による商品の破損等の不具合については
保証の対象外となります。
- ・本商品は一般道での走行のみを想定しており、積載重量内であっても、未舗装路や、路面の荒れた
道等での走行をした場合、車両取り付け部や商品が破損する原因になる為、絶対に行わないでください。

《共通項目》

1. 本商品を取り付ける前に、写真①のように付属の
ロックの位置決め突起部をボトルケースの穴部に
合わせてからM6皿ネジとM6ナットで取り付けます。

《規定トルク》

・M6ナット・・・10 N・m



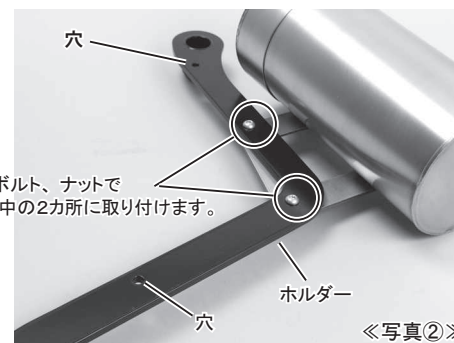
突起部と穴を合わせて、ロックと
ボトルケースの位置決めをする。

《写真①》

2. ボトルケース本体とホルダーを付属のボルト
(M6×20)、M6ナットを使って組み付けます。
(写真②)

《規定トルク》

・M6ナット・・・10 N・m



M6ボルト、ナットで
真ん中の2カ所に取り付けます。

ホルダー

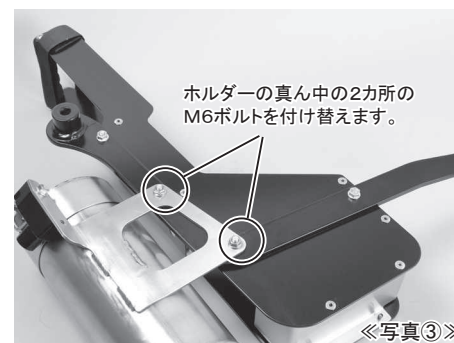
《写真②》

＜ロッドケースと取り付けの場合＞

ロッドケースのホルダーとBOX部を固定しているボルト、
ナットを2ヶ所だけ取り外して、本商品に付属のボルト
M6を使用して組み付けます。
(～'17.11のカブ110、カブ50PRO、カブ110
PROでロッドケースキット＜EE524KZVB1＞
との組み合わせのみM6×35を使用、その他は
M6×20を使い、商品を組み付けます。)
(写真③)

《規定トルク》

・M6ナット・・・10 N・m



ホルダーの真ん中の2カ所の
M6ボルトを付け替えます。

《写真③》

＜使用するボルト＞

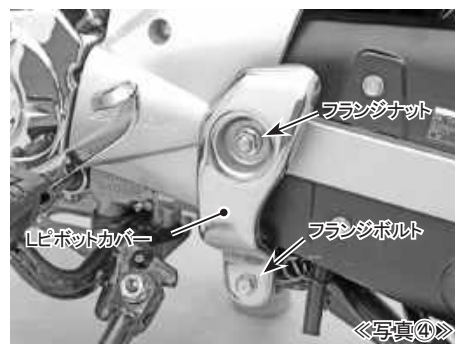
- ・クロスカブ50、110、カブ50、カブ110 (JA44、JA59)、カブC125 (JA48)、CT125 (JA55)
→M6×20
- ・カブ110 (JA10)、カブ50PRO、カブ110PRO
→M6×35

≪ EF177KZVA01/B01, EI177K88A1/B1 の場合 ≫

＜適合車種＞

クロスカブ50、110、カブ50、カブ50PRO
カブ110（JA59、JA44、JA10）、
カブ110PRO

3. 車両のサービスマニュアルを参考にしてLピボット
カバーを取り外します。（写真④）
ボルト、ナットは本商品の取り付けにも使用します。



4. リアクッションアッパーマウントナットを取り外します。
（写真⑤、⑥）
このとき、取り外したワッシャーは本商品の取り付け
には使用しません。元に戻す際には必要になります
ので大切に保管してください。



5. 前項3. で外したLピボットカバーの裏側にホルダー
を入れて、取り外したナット、ボルトを使用して
共締めします。（写真⑦）

≪規定トルク≫

- ・Lピボットナット（M10ナット）・・・39 N・m
- ・M8フランジボルト（純正）・・・27 N・m

6. リアクッションアッパーマウントナットを締め付けます。
（写真⑧、⑨）

≪規定トルク≫

- ・リアクッションアッパーマウントナット・・・29 N・m

各部のボルト、ナットの締め付け確認をして、
完成です。



●構成部品について

※（ ）内の個数はステー付きの商品に同梱されている
部品数になります。

	部品名	個数
1	ボトルケース本体	1
2	ボタンボルトM6×20	2
3	ボタンボルトM6×35	2
4	ロック本体	1
5	ロック用カギ	2
6	ロッドケースホルダー	(1)
7	フランジナットM6	3
8	皿ビスM6×30	1
9	書類	1

※注意※

スーパーカブ110（JA10）に取り付ける
場合には、必ず左側タンデムステップバーを
外して、写真⑩の状態にしてからご使用ください。
ステーとタンデムステップバーが接触して、
商品の故障や重大な事故の原因になる
恐れがあります。



※注意※

ロッドケースキット（'17.11～）＜EI524K88
A1＞、ボトルケース（'17.11～）＜EI177K
88A1およびEI177K88B1＞を取り付けた場合
にはタンデムステップは写真⑪のように畳んだま
まの状態でご使用ください。

※（ ）内の個数はステー付きの商品に同梱されている
部品数になります。



ロッドケースキット、ボトルケースを
取り付けると、純正ヘルメットホルダーの
使用ができなくなりますので必要な場合
には、ヘルメットホルダーセット（ブラック）
＜EH507HANB1＞を別途購入することで、
写真⑫の位置に取り付け可能です。



《 EJ177K0GA1/B1 の場合 》

＜適合車種＞
カブC125（JA48）

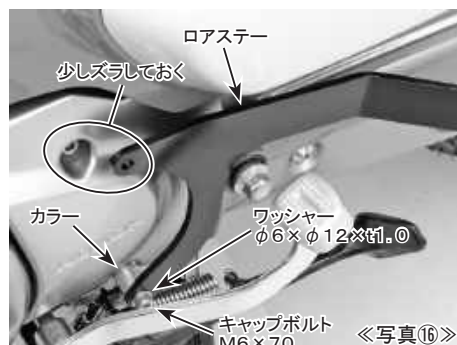
3. タンデムステップを取り外します。（写真⑬）
※左側タンデムステップを外さずに使用した場合には本商品とタンデムステップが干渉し破損や事故を起こす可能性があります。
4. 前項3. で取り外したボルト穴に、付属のボタンボルトM8×10とワッシャーφ8.5×φ18×t1.2を取り付けて規定トルクで締め付けます。（写真⑭）＜規定トルク＞・・・20N・m



5. スプロケットカバーの下側のボルトを外します。（この時、カバーの奥にあるドライブチェーンガイドがズレやすいので、上側のボルトは緩め過ぎないよう気をつけて作業、確認を行ってください）

6. 前項5. で外したボルトの場所へ付属のロアステアをキャップボルトM6×70、ワッシャーφ6×φ12×t1.0、カラーをセットし、上側のボルトから少しズラした状態で仮止めします。（写真⑯）

7. スプロケットカバー上側のボルトを取り外し、下側と同様にキャップボルトM6×70、ワッシャー、カラーをセットし仮止めします。（この時、カバーの奥にあるドライブチェーンガイドがズレていないか等の確認を行ってください）



8. リアクッションアッパマウントナットとワッシャーを取り外します。（写真⑱）
※取り外したワッシャーはロッドケースの取り付けには使用しませんので保管してください。



9. 前項2. でセットしたボトルケースをリアクッションアッパマウント部には純正ナットを使用し、ロアステア部は付属のM8フランジボルト、ワッシャー、ナットを使用して取り付けます。（この時、仮止めのロアステアを上下に調整し、ロッドケース側のホルダーと合わせてください）

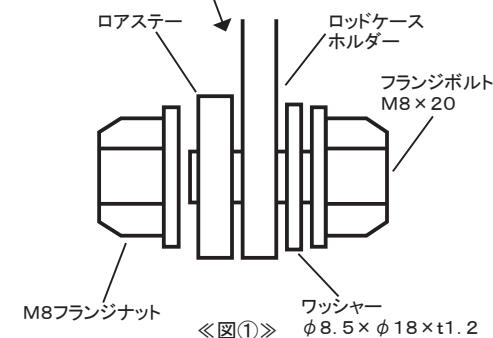
全ての部品がセットされたら各部のクリアランスを確認しながらボルト、ナットを規定トルクで全て締め付けます。（写真⑲）（図①）

＜規定トルク＞

- ・M6ボルト、ナット・・・10N・m
- ・M8ボルト、ナット・・・24N・m
- ・リアクッションアッパマウントナット・・・29N・m



10. 各部の締め付けおよび干渉が無いを確認したら完成です。



※注意※

弊社製リアキャリア、ロッドケースキット、ボトルケースキットの同時装着は可能ですが、それ以外の周辺部品との装着は干渉等の理由で取り付けできない場合もあります。



《 EJ177K0GA1/B1 の場合（続き） 》

●構成部品について ※（ ）内の個数はステータス付きの商品に同梱されている部品数になります。

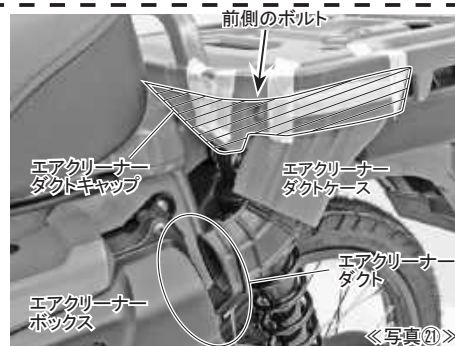
No.	部品名	個数	No.	部品名	個数
1	ボトルケース本体	1	10	カラー	(2)
2	ボタンボルトM6×20	2	11	キャップボルトM6×70	(2)
3	ボタンボルトM6×35	2	12	フランジボルトM8×20	(1)
4	皿ビスM6×30	1	13	ボタンボルトM8×10	(2)
5	フランジナットM6	3	14	ワッシャーφ6×φ12×t1.0	(2)
6	ロック本体	1	15	ワッシャーφ8.5×φ18×t1.2	(3)
7	ロック用カギ	2	16	フランジナットM8	1
8	ロッドケースホルダー	(1)	17	書類	1
9	ロアステー	(1)			

《 EK177K2EA1/B1 の場合 》

<適合車種>

CT125 (JA55、JA65)

3. エアクリーナーダクトキャップを写真⑳のようにテープなどで仮止めし、エアクリーナーボックスからエアクリーナーダクトを抜いた後に、前側のボルトを外します。



4. 後側のボルトを外します。そのあと、エアクリーナーダクトケースの横あたりを押してツメを外しながら、下方向にエアクリーナーダクトケースを抜きます。(写真㉒)



(ツメはダクトケースの車両側にも有りますので先に外側から抜くように外してください)

5. リアクッションアッパマウントナットを取り外す。(写真㉓)

このとき、ナットの座面にあるワッシャーは今回の取り付けに使用しないので、保管しておいてください。

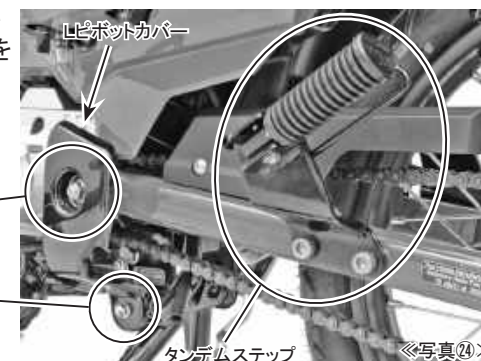


6. ナットとボルトを取り外し、Lピボットカバーを取り外します。また左側のタンデムステップを取り外します。(写真㉔)

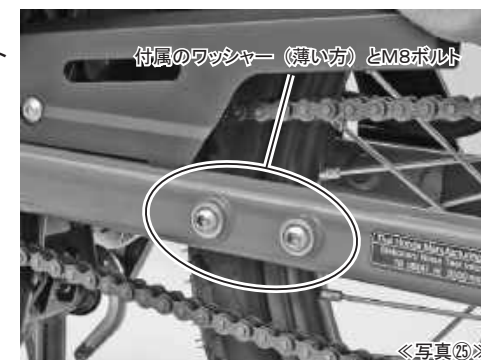
※左側タンデムステップを外さずに使用した場合には本商品とタンデムステップが干渉し破損や事故を起こす可能性があります。

ナット

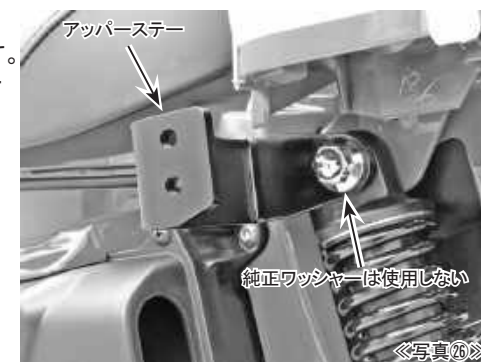
ボルト



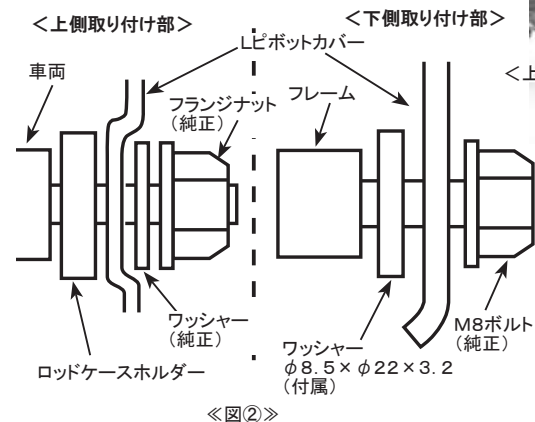
7. 前項6で取り外したタンデムステップのところに、付属のワッシャー（薄い方）とM8ボルトを取り付け締め付けます。(写真㉕)
・規定トルク・・・20 N・m



8. 付属のアッパステーを、リアクッションアッパマウント部に純正ナットで仮止めします。この時、リアクッション外側の純正ワッシャーは使用しないので保管してください。(写真㉖)



9. 前項6で取り外したLピボットカバーと車両の間にホルダーステーの下側を入れて取り外した純正ナットとワッシャーで仮止めします。そのときにLピボットカバー下側（M8ボルトの所）、車両との間に付属のワッシャー（厚い方）を入れて、純正M8ボルトで仮止めしてください。（写真⑲、図②）

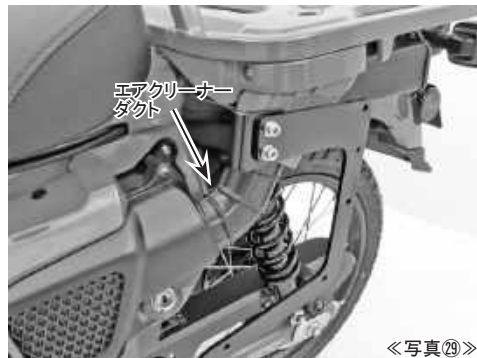
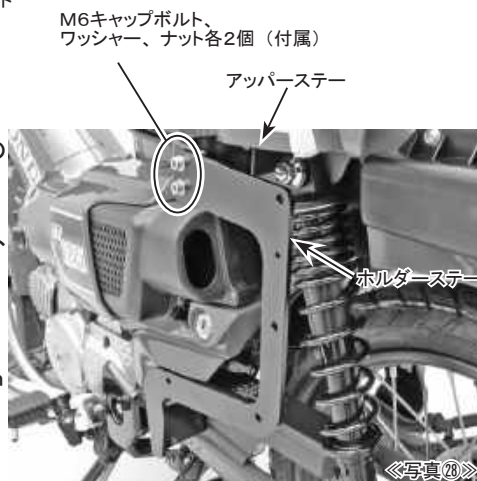
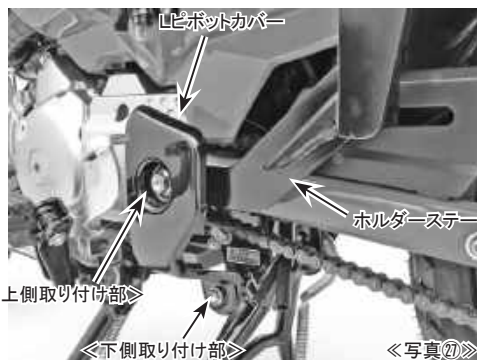


10. アップーステーとホルダーステーを、付属のM6キャップボルトにワッシャーを入れてナットで2ヵ所仮止めし、各所のクリアランスを確認しながら、仮止めしたすべてのボルト、ナットを規定トルクで締めつけます。（写真⑳）

＜規定トルク＞

- ・リアクションアッパマウントナット・・・44N・m
- ・Lピボットナット・・・27N・m
- ・M8フランジボルト・・・27N・m
- ・M6ボルト、ナット・・・10N・m

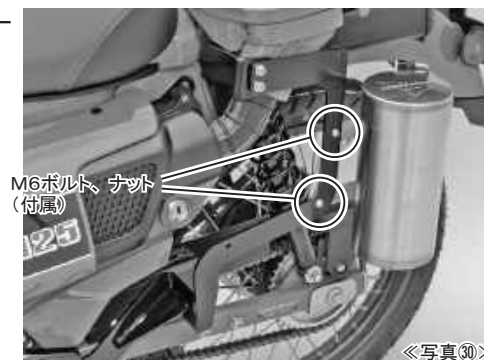
11. エアクリーナーダクト、ダクトケースを取り外した手順と逆に戻します。（写真㉑）



12. 付属のM6ボルト、ナットを使い、ホルダーステーにボトルケース本体を取り付け、規定トルクで締めつけます。（写真㉒）

＜規定トルク＞

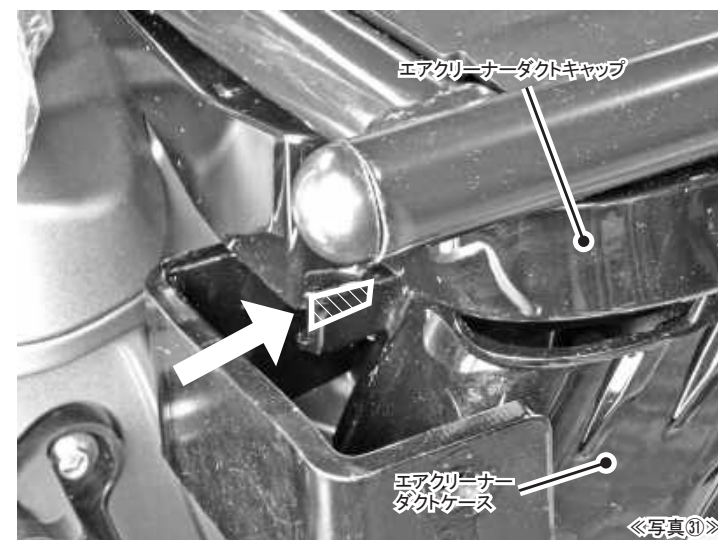
M6ボルト、ナット・・・10N・m



＜CT125・ハンターカブ【JA65】＞の場合

※注意※

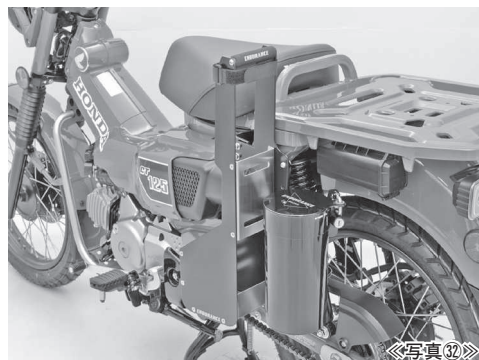
CT125・ハンターカブ（'22.12～）【JA65】への取り付けでは車両によって取り付けしづらい場合があります。その場合は写真㉓のエアクリーナーダクトケースの車線部を、取り付けに必要な分だけ削る必要があります。



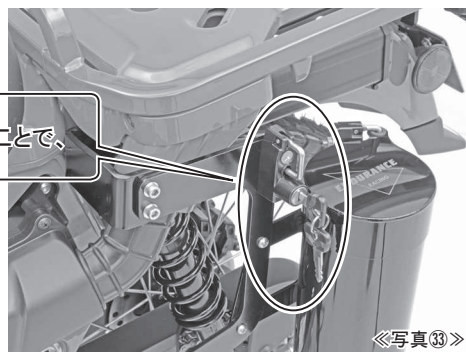
≪ EK177K2EA1/B1 の場合（続き） ≫

※注意※

弊社製ロッドケースキット、ボトルケースキットの同時装着は可能ですが、ヘルメットホルダーキット（EK507-K2E-A1）とは同時装着できません。また、それ以外の周辺部品との装着も干渉等の理由で取り付けできない場合もあります。



ロッドケースホルダー上部にヘルメットホルダーセット EH507HANB1（ブラック）を別途購入することで、写真33の位置に取り付け可能です。



●構成部品について ※（）内の個数はステイ付きの商品に同梱されている部品数になります。

No.	部品名	個数	No.	部品名	個数
1	ボトルケース本体	1	9	アッパーステー	(1)
2	ボタンボルトM6×20	2	10	キャップボルトM6×18	(2)
3	ボタンボルトM6×35	2	11	ボタンボルトM8×10	(2)
4	皿ビスM6×30	1	12	ワッシャーφ6×φ13×t1.0	(2)
5	フランジナットM6	3+(2)	13	ワッシャーφ8.5×φ18×t1.2	(2)
6	ロック本体	1	14	ワッシャーφ8.5×φ22×t3.2	(1)
7	ロック用力ギ	2	15	書類	1
8	ロッドケースホルダー	(1)			

●取り扱い上の注意について

- ・最大積載量は1.5kgです。
- ※最大積載量を超えての使用は絶対におやめください。
- ※最大積載量にはヘルメットホルダー等、ボトルケースキットに取り付けたすべての物の重量が含まれます。
- ・取り付けボルトの緩みがないか確認してください。
- ・変形させたり、車体に無理な力がかからないようご注意ください。
- ・傷を付けると錆の原因になるため、ボルトの座面にグリスを塗ってから締め付けてください。
- ・月に一度程度、ワックスを掛けていただくと錆発生予防になります。
- ・リアキャリア、シート等ロッドケース周辺のパーツまたは取り付け部に純正車両以外のアフターパーツがついている場合はロッドケースと干渉して、取り付けできない場合があります。



ご使用についての共通注意事項

※必ずお読みください

- ・斜線部（写真34）には振動での音鳴り防止と蓋の開閉をスムーズにするためにテフロンテープが貼ってあります。

もし、このテープが剥がれたり、振動で蓋部の音鳴りがある時には、テープを貼り直すか、テープを重ねて貼り、蓋部とボディのクリアランスを調整してください。



- ・ロックの開閉は、蓋部を回しながら行ってください。（写真35）



●保証について

※保証期間は購入日より6ヶ月間です。ただし期間内であっても取り付け後の走行距離が5000Kmまでとさせていただきます。本商品を取り付け、使用したことで本商品以外の部品等に不具合が発生しても本商品以外の部品や、その他の保証（修理工賃、レッカー代、交通費、宿泊費等含む）は保証期間内であっても弊社では一切の責任を負いません。また本取扱説明書の記載事項に従ってご使用になられた場合のみ保証の対象となります。ただし以下の場合には、保証期間内であっても保証の対象外になりますのでご注意ください。

- ・一般公道以外で本商品の使用。
 - ・誤った組み方や使い方が原因による故障。
 - ・火災、地震などの自然災害、気象変化、犯罪、交通事故などに巻き込まれたことによる故障及び破損。
- また、使用後の外観不良に関しては保証対象外になります。万一、お気付きの点がありましたら、ご使用になる前にお問い合わせください。

※保証を受けるためには、別紙にある保証登録をしていただく必要があります。未登録の場合は保証を受けられなくなりますのでご注意ください。

注意

1. 構成内容や外観に不備がないかご確認してから商品の取り付けをお願いします。また、取り付け後の外観不良は保証対象外となります。
2. 各部品は必ず一旦仮締めとし、車体の組み付け状態を確認し、位置決めをしてから本締めしてください。
3. 取り付け・調整が終了したら、各部分のボルト・ナットの締め忘れが無いようご注意ください。
4. 取り外した純正部品（ボルト等）は元に戻す際に必要になりますので、必ず保管してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。
 ※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。
 ※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。
 ※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
 endurance-parts.com